

社協

しおじり



塩尻市社協キャラクター
しおりん

2025

7.1

No.279

「みんなが安心して、しあわせに暮らせる地域づくり」

Interview



塩尻西部中学校 地域貢献活動「孫の手プロジェクト」運営メンバー

インタビュー 地域の中の社会貢献活動について

～自分たちの暮らすまちをより良くしたい～

私たちが暮らす塩尻市には「自分のまちをより良くしたい。」と願い、社会貢献活動に携わる方々がたくさんいます。

その中で今回は、中学生が輝く活動として、塩尻西部中学校の地域貢献活動「孫の手プロジェクト」、企業のサステナビリティ活動として、バローグループの「フードドライブポスト」の取り組みを取材しました。

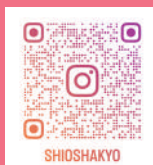
西部中学校の取材では「地域のみなさんに大切に育ててもらった恩返しがしたい。」「自分の時間を地域のために有効活用したい。」「地域の中で将来に活かせる経験をしたい。」「活動を通して地域の大切な行事を守っていきたい。」と、目を輝かせて語る素敵な中学生の皆さんと出会いました。



塩尻市社協
ホームページ
<https://www.shiojirishakyo.or.jp/>



Instagram



ボランティア
センター公式 LINE



～ 中学生による社会貢献活動の紹介～

Interview

塩尻西部中学校「孫の手プロジェクト」
運営メンバーの皆さん取材しました。



孫の手プロジェクトについて教えてください

「孫の手プロジェクト」は、地域の方からの「こんなことに中学生の力を貸してほしい」といった依頼に応える地域貢献プロジェクトです。令和6年度から始動しました。

学校に寄せられる様々な依頼に対して、全校生徒に応募を呼びかけ、生徒一人ひとりがやってみたい活動に主体的に参加します。活動すると「孫の手チケット」が発行されることも大きな特徴の一つです。「孫の手チケット」は地元のお店で使うことができ、地域の商店と学校を繋ぐきっかけにもなっています。



実際にどんな活動をしていますか？



地元のお祭りや、観光イベント、施設関係のイベント等からの協力依頼が多いです。私たちが暮らす地域では、子どもの人数が減り、高齢化も進んでいるため地域行事の継承が難しくなっています。孫の手プロジェクトを通して、地区を超えてお祭り等に協力することで、**地域の伝統行事を守っていき**きたいです。

他にも、地元ならではのぶどうの収穫作業や、夏休みの小学生の学習広場のお手伝い、地域の方との文通等様々な依頼があります。



運営メンバーの活動や皆さんの想いを教えてください



今年度から立ち上がった運営メンバーが、孫の手プロジェクトの広報や、孫の手チケットを活用できる商店拡大のための営業活動に取り組んでいます。

「積極的に地域貢献活動にチャレンジしてみたい！」と熱い想いを持ったメンバーが集まっています。

私たちが暮らす地域には、子どもを温かく見守ってくれる大人がたくさんいます。そんな地域に恩返しをしたいです。

**宗賀地区、洗馬地区のみなさん。
孫の手プロジェクトへの活動依頼お待ちしております！**

～ 企業の社会貢献活動の紹介 ～

Interview

バローグループの「フードドライブポスト」の取り組みを取材しました。



スーパーマーケット等を展開するバローグループでは、サステナビリティ推進活動の一環で各店舗に「フードドライブポスト」の設置を進めています。バロー塩尻店でも4月中旬に設置され、市内の子ども食堂等を運営する団体が月2回程度回収し、各団体の活動に使用されています。



【フードドライブポストとは】

家庭で余った食品を回収するためのポストのことです。これを利用して、地域の子ども食堂等に寄付することができます。

これからのスーパーマーケットは物を売るだけでなく、地域のインフラ的な役割になることが必要かと思っています。

地域に貢献できるこの取り組みは社員達のやりがいにも繋がっています。



バロー塩尻店店長
加藤様

社会貢献活動の
かたちも様々！

『寄付』をするという方法もあります！

一人ひとりができることは少なくとも、
皆さんの善意が集まれば大きな力となります。

実際に活動へ参加することは難しくても、寄付という形で活動を応援し支えることも社会貢献の一つです。寄付にも様々な種類があり、皆さんができることで地域福祉活動にご参加いただけます。

現金で寄付

- ・今回だけ寄付したい
- ・毎月定額を寄付したい



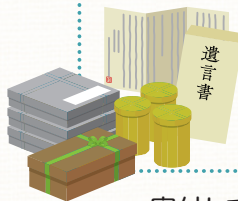
食料、物品の寄付

- ・生活にお困りの方に直接お渡しするほか、子ども食堂や地域のサロンなどで活用させていただきます。



遺贈による寄付

- ・遺言によって遺産の一部、または全部を相続人以外の者や団体に無償で譲ることを言います。その中で、寄付として贈られたものは「遺贈寄付」となります。
(生前にご相談、申し出いただければ幸いです。)



寄付していただいたものは、ご希望の内容に基づき活用させていただきます。
応援したい活動やこんなことに使ってほしいなどのご希望をお申し出ください。
社協は皆さんのやりたいことを後押しします。

あなたの想いを、地域のために、これからの子どもたちの未来のためにつなげてみませんか。

分野と世代を超えて

すみれ・そよ風まつりを開催しました

5月17日(土)に開催したところ、大勢の方に来ていただき盛大に行うことができました。

開催にあたり、市内外の就労支援事業所の皆さんや、近隣の中学生をはじめボランティア団体等、世代と分野を超えて様々な団体が運営に携わってくださり行うことができました。

地域に開かれた施設を目指してこのおまつりを続けていますが、このような関係が日常から気にかける関係となり、一人ひとりの生きがいある生活やそれぞれが役割を持てる地域社会へと繋がっていくことを願っています。

今回、おまつりに携わってくださった皆さんに参加したきっかけや活動の思いなどをお伺いしました。

おまつりの
実行委員を
務めました！



就労支援事業所みどりが丘 前田 美香 さん

みどりが丘に通い始めて丸3年が経ちました。去年は、まつりの開催宣言をしましたが、今年は職員から誘いを受けて実行委員会のメンバーとして、まつりに関わることになりました。当日は、昨年に引き続き、他のメンバーと開催宣言をしたり、販売に参加している事業所や個人の方に実行委員としてインタビューをし、来所者の方に日ごろの活動や商品紹介をするPR活動をしました。実行委員として活動をしたことで、「すみれ・そよ風まつり」は、地域住民に施設のことを知ってもらうことを目的に開催されていることや、このまつりを楽しみにしている人たちの存在にも気づきました。

自分自身、みどりが丘に通い始めなければ、このまつりの存在を知りませんでした。まだ、この施設のことやおまつりのことを知らない人が多いと思います。そういう方々にも知ってもらい、障がいの理解や就労支援事業に通っているメンバーの働く場所や仕事が増えていけば嬉しいです。

丘中学校 吹奏楽部 の皆さん

おまつり当日は、2~3年生の16名が5曲を演奏し、1年生はアナウンスで参加しました。

演奏中は、来場者が楽しく聞いてくれる姿や手拍子をして演奏を楽しんでくれている姿が印象的でした。

演奏後は、他の団体の発表やお店などを見せてもらい一緒に楽しませてもらいました。

日頃は、学年を超えてメンバー同士が教え合える関係を

築き、「私達の奏でる音は心とつながっている、思いをこめた演奏を」をスローガンに掲げ、平日4日間と土曜日の午前中に練習を重ねています。地域のイベントで演奏する機会も増えています。



丘中学校 福祉委員会 の皆さん

委員会として毎年参加しています。開催日が休日ということもあり、有志7名が参加しました。

生活介護なずなの家に通われている利用者のサポートをしました。実際に車いす体験をして、段差の昇り降りに怖さを感じましたが、怖さを軽減するために声掛けをしながらサポートすることの大切さを実感しました。

委員会としては、学校内に友人や先輩後輩の良いところを書いて仲を広げていく「スマイルツリー」という活動や、赤い羽根共同募金の活動に取り組んでいます。

今後も、すみれの丘との繋がりも続けていけたらと思います。



塩尻志学館高校3年生 田中 俊文 さん

学校の総合研究という授業の中で障がい者福祉について研究をしています。調査を進める中で社協のボランティアセンターからすみれ・そよ風まつりのボランティアを紹介されて活動してみようと思いました。

当日は、自主製品販売のお手伝いや荷物運びをしました。活動する前のイメージでは、障がい者施設は、職員さんが利用者さんに指示を出して、利用者さんがその指示に従って動いていると思っていましたが、実際に活動してみると利用者さんが主体的に動いている様子が印象的でした。職員と利用者という関係性ではなく仕事仲間という関係性が築かれていると感じました。

将来は、すみれの丘・そよ風の家のような就労支援事業所で働きたいと考えているので、将来についても考える機会になりました。これからもこのような機会があれば参加してみたいと思います。

ボランティアとして参加してくれました！



手話ダンスの会ラベンダー 代表 松田 多水子 さん

手話ダンスの会ラベンダーは、平成25年に発足。小学5年生から80代までの15名のメンバーが活動しています。おまつり当日の発表では、参加された皆さんの笑顔が見られたことや一緒に手話歌をやることで一体感が生まれとても嬉しい気持ちになりました。

私たちは、手話ダンスを通して、日常で使える簡単な手話を覚え、聞こえない人もコミュニケーションをとってほしいという思いで活動しています。近所に聞こえない人がいるけれど、手話を知らないから話せないと消極的な気持ちを感じている人もいます。手話ダンスを見てくれた人が、聞こえない人に声をかけてみよう！と勇気を出してもらえたら嬉しく思います。

ボランティア活動をしていると、「また来てね!」「次はいつ来てくれる?」と声をかけてくれたり、感動して涙を流してくれる方がいます。そのような姿からボランティア活動を通じて、私たちも喜びや生きがいを感じていますし、活動のなかでできた人との繋がりが、活動を広げるきっかけにもなっています。

これからも手話ダンスを通して手話を広げていきたいと思っています。

ボランティア団体として参加してくれました！



塩尻市社会福祉協議会では、ボランティア活動を応援しています。

福祉施設も様々な活動を行っています。こんな活動してみたいな、こんな特技があるけど何かに活かせないかななど、みなさんの“やってみたい”の気持ちを応援しています。

ボランティアセンターで活動紹介やコーディネートを行っていますので、お気軽にご連絡ください





① 法人運営

- すべての役職員が高い倫理観を保持し、法令及び社会規範を遵守した公益性の高い事業経営を実施しました。
- 第54回塩尻市社会福祉大会を開催し、特別功労者等の表彰、被災地支援活動報告及び講演会を行い防災に関する意識啓発を図りました。
- 大学、高校の実習生を積極的に受入れ、将来の福祉・介護の担い手育成に努めました。介護職員初任者研修は受講希望者がなく3年連続で開催に至らなかったため、県と連携した担い手育成の取組強化に転換を図りました。
- 中長期計画に基づいた財政運営を進め、老朽化が進む施設の改修、車両の更新等を計画的に実施しました。また、経営戦略会議において新たな中期経営計画の策定に取り組みました。
- 昨年度策定した「防災計画」及び「業務継続計画」の職員への周知を図るとともに、計画に基づく大規模災害に備えた法人全体及び事業所ごとの防災訓練を実施し、危機管理体制の構築に取り組みました。



社会福祉大会の様子▶



② 地域福祉の推進

【住民とつくる福祉でまちづくりの推進】

- 新たに配置した総合相談マネージャーと地域福祉推進員（東部圏域）が、市と連携して包括的な相談体制の構築を検討し、全市的な重層的支援（全世代対応型支援）体制の整備を進めました。
- 講座や研修を通じた地域住民への説明、ワークショップを実施しました。令和6年度を初年度とする「第6次地域福祉活動計画」を推進しました。
- 各種会議、補助金審査会等において、地域における今後の補助事業について意見交換、協議を行い、持続可能な事業に向けて補助金見直しの検討を進めました。

【成年後見】

- 成年後見支援センター及び中核機関を運営することにより、権利擁護の必要な判断能力が十分でない人を支援する成年後見制度の利用促進を図りました。また、成年後見支援員へのフォローアップ研修や身寄り問題解決などに取り組みました。

【ボランティア活動の振興】

- 大規模災害等に備え、職員による災害ボランティアセンター運営訓練や災害キャンマップの職場内研修を実施するとともに、災害ボランティア登録を進めました。また、被災地支援として石川県の災害ボランティアセンターに職員を派遣しました。



③ 介護保険サービス、障害福祉サービス

- 住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、利用者の意向を尊重した質の高い訪問サービス及び通所サービスを提供するとともに、介護・医療・保健・福祉などの包括的な総合相談とケアマネジメントにより、在宅生活を支援しました。
- 2040年を見据えたホームヘルパー事業の現状分析と課題の洗い出しを行い、業務改善策を検討しました。
- 塩尻・山形・朝日地域自立支援協議会で取り組んでいる「障がい者総合相談支援センター『ボイス』及び基幹相談支援センター」に相談員を派遣し、地域生活への移行・定着を支援しました。



デイサービスレク制作品▶



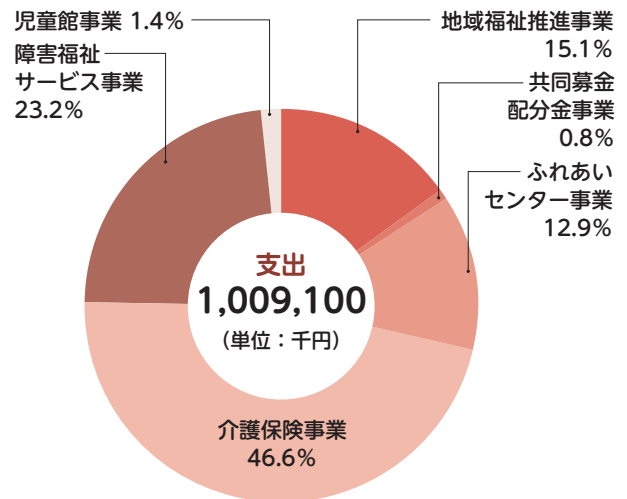
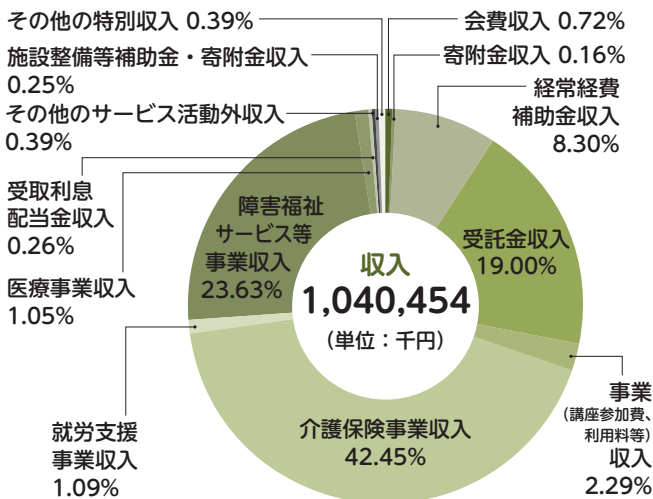
④ 指定管理事業

- 地域福祉活動の拠点施設としてのふれあいセンターの機能を強化・拡充して、3館を各圏域の「福祉の総合相談窓口」に位置づけ、支部・分会活動や高齢者元気づくりをはじめ、地域福祉推進員等と連携して地域の活動を伴走支援しました。
- 令和6年度末で指定期間が終了するふれあいセンター広丘について、非公募により指定管理継続の申請を行い、令和7年度から5年間の指定管理候補者として市から通知を受け、市議会で決定されました。



ふれフェスの様子▶

令和6年度 決算概要



サマーチャレンジボランティア 参加者募集

この夏、ボランティアにチャレンジしてみませんか？

【活動可能期間】 7月26日(土)～9月5日(金)

【活動内容】 市内の施設や地域のイベント等

【対象者】 中学生以上の方

【事前研修】 7月13日(日) 10時～正午

【事後研修】 9月7日(日) 10時～正午

【参加費(保険代)】 市内在住の方：250円

市外在住の方：350円

【申し込み】 7月11日(金)までにご連絡ください。

※事前研修、事後研修の会場は保健福祉センター2階です。

※希望者は原則、事前研修・事後研修に参加していただきます。

申込・問い合わせ先 地域福祉推進センター

TEL：0263-52-2795

FAX：0263-53-5058



令和7年度 スポーツボイス教室 受講生募集

声を出しながら身体の柔軟性を上げ、喉、お腹まわり、体幹にアプローチ！全身の筋肉を使い、身体機能を取り戻す教室です。

【日時】 8月2日～9月13日 (毎週土曜日 全6回)
10:00～11:30

【場所】 ふれあいセンター東部 教養娯楽室1, 2

【対象】 市内在住で医師から運動制限の指示が出ておらず、ご自身で来られる方

【募集定員】 20名(新規の方優先、申込状況により抽選となります)

【参加費】 無料 【申込期間】 7月1日(火)～7月15日(火)

令和7年度 第3期 からだづくり健康教室 受講生募集

健康運動指導士が運動プログラムをもとに丁寧に指導。トレーニングマシンの操作を覚えて自主的な運動につなげるための教室です。

【日時】 10月2日～12月20日 (週1回)

○Aコース(水曜日) 10:00～11:30 全12回

○Bコース(金曜日) 13:30～15:00 全12回

【場所】 ふれあいセンター東部 いきいき健康ホール

【対象】 市内在住で医師から運動制限の指示が出ておらず、ご自身で来られる方

【募集定員】 10名(新規の方優先、申込状況により抽選となります)

【参加費】 無料 【申込期間】 9月2日(火)～9月16日(火)

令和7年度 健康ダンス教室 受講生募集

ダンストレーニングでストレス解消、体力、筋力アップ！リズム良く、体感にアプローチする楽しい教室です。

【日時】 10月4日～11月8日 (毎週土曜日 全6回)
10:00～11:30

【場所】 ふれあいセンター東部 教養娯楽室1, 2

【対象】 市内在住で医師から運動制限の指示が出ておらず、ご自身で来られる方

【募集定員】 20名(定員を超えた場合は、抽選となります)

【参加費】 無料 【申込期間】 9月2日(火)～9月16日(火)

◎申込方法、持ち物等については直接センターにお問い合わせください。

申込・問い合わせ先 ふれあいセンター東部

TEL：0263-87-2931 FAX：0263-87-2932

お元気食堂 みんなで流しそうめん！ 参加者募集

竹を使用し、涼しい場所で行います！どなたでもご参加いただけます。

【日時】 8月17日(日) 10:30～12:00

【場所】 ふれあいセンター洗馬 教養娯楽室

【参加費】 300円(中学生以下無料)

【定員】 16名 【持ち物】 手拭きタオル等

【申し込み】 8月8日(金)までに電話、窓口、インスタグラムのDMへご連絡ください。定員になり次第、募集を締め切ります。

※申込状況によっては、時間を変更し、2部制で実施する可能性もあります。

ふれあい講座 シニアいきいき健康教室 受講生募集

暑さに負けない体づくり！～夏バテ対策をしよう～

【日時】 7月24日(木) 10:00～11:30

【場所】 ふれあいセンター洗馬 教養娯楽室

【講師】 松本大学健康運動指導士 小澤 菜々子氏

【参加費】 無料 【定員】 20名

【持ち物】 タオル、飲み物、お持ちの方は体操マット

【申し込み】 7月17日(木)までに電話、窓口、インスタグラムDMへご連絡ください。先着順となります。

申込・問い合わせ先 ふれあいセンター洗馬

TEL：0263-51-5337 FAX:0263-52-8088

地域で活かせるレクリエーション教室 受講者募集

皆さん楽しみながら交流しましょう♪

【日時】 8月1日(金) 10:00～11:30

【場所】 塩尻市保健福祉センター3階 市民交流室

【内容】 脳トレ体操、レクリエーションゲーム、レクダンス等

【参加費】 無料 【定員】 30名

【その他】 動きやすい服装、飲み物をお持ちください。

【申し込み】 7月25日(金)までに下記連絡先もしくは各センター窓口へ直接お問い合わせください。

申込・問い合わせ先 各ふれあいセンター

洗馬▶ TEL:0263-51-5337 FAX:0263-52-8088

広丘▶ TEL:0263-51-5070 FAX:0263-52-0670

東部▶ TEL:0263-87-2931 FAX:0263-87-2932

めざせ防災マスター 受講者募集

「もしも」に備えて、自分の身を守る力、地域の中で支え合う力を身に着けるための連続講座です。「役に立つ」と好評です！

【日時】 7月13日(日) 10:00～11:30

【場所】 ふれあいセンター広丘 集会室

【内容】 第3回 AEDの使い方・応急手当

【その他】 講座は毎月1回行っております。連続でなくても受講可能です。

【申し込み】 参加希望の方は直接センターにご連絡ください。

申込・問い合わせ先 ふれあいセンター広丘

TEL：0263-51-5070 FAX：0263-52-0670